

実践事例「本のPOP作りを通じた地域との連携」

(東京都立南多摩中等教育学校)

<p>取組の概要</p> <p>※詳細は2枚目以降参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後早い時期に、1年生を対象にした国語の授業で、自分が好きな本のPOPを作って発表する学習活動を行う ・完成したPOPは、地域の書店や公共図書館での展示、出版社主催の「全国学校図書館POPコンテスト」への応募により、多くの人目に触れる機会を設ける
<p>取組の狙い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本に親しみ、読書が好きになる ・本を通してコミュニケーション力を育成する
<p>工夫や留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自由な創造性を発揮できるように支援する ・お互いの作品をリスペクトできる雰囲気を作る
<p>取組の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用が増えた ・読書への関心が高まった
<p>課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作したPOPを使って校内で本の展示を行いたい ・絵が苦手な生徒も楽しめる形を作りたい

■ 本校の学校図書館について

都立南多摩中等教育学校は、都内に10校ある都立中高一貫校の一つです。前身の都立南多摩高等学校の施設をそのまま利用し、図書館も前・後期が共同で使用しています。

図書館は校舎の2階に置かれ、約4教室分の広さがあります。南北に窓があり、館内は明るくて開放的です。蔵書は約44000冊あり、「フィールドワーク」という探究学習を中心に、学習活動と読書活動で活発に利用されています。令和2年度は授業で188時間の利用がありました。

■ 授業での実践事例「POPづくり」

本校の国語科では、読書指導を熱心に行っています。「100冊プロジェクト」という取組では、前期の3年間に様々なジャンルから選ばれた100冊の本に接することにより、生徒の読書の質を豊かに、幅を広げるのに役立っています。

今回紹介する「POPづくり」も、読書指導の一環として、入学してすぐの1年生に対し、毎年行っている授業です。自分が好きな本のPOPを作って発表するという学習活動を通して、本を通じたコミュニケーションが行われるとともに、他の生徒の作品を見ることで、新たな本に出合える場ともなっています。この授業は本校開設当初から始められ、試行錯誤を繰り返しながら充実させてきました。国語科の教諭と学校司書が協力して行っています。

■ 授業の展開

この授業は通常4時間をかけて行っています。1時間目から3時間目までは学校図書館を利用し、4時間目は教室で授業を行います。

1時間目は、POPについて担当教諭と学校司書が説明します。館内のディスプレイにパワーポイントのスライドを映し、効果的な作品の作り方や具体的な注意点、作品例な

どの説明を行います。書店等で POP を見たことがあっても、実際に作るのは初めての生徒も多く居るので、この説明はとても重要です。

2 時間目からは実際に作業を行います。あらかじめ用意したおすすめの本を読み返し、キャッチコピーや内容紹介を作っていきます。内容が固まったら、今度はデザインを決めていきます。図書館では様々な色の画用紙やペン、のり、ハサミといった文房具を用意しており、生徒たちが自由に POP で様々な表現をできる環境を整えています。作業中は随時、担当教諭と学校司書が生徒の様子を確認し、より良い POP を作るにはどうしたらいいか、話し合ったりアドバイスをしたりしています。

制作の時間として 2 時間を取っていますが、多くの生徒にとって時間が足りなくなるため、授業内でやり残した部分については宿題としています。作っているうちにどんどん気持ちが入ってくるようで、生徒たちは自宅で楽しみながら最後の仕上げを行ってくれています。



発表のようす

最後の 4 時間目では作品の発表と共有、振り返りの時間を設けています。書画カメラを使って教室のプロジェクターに作品を映し、デザインやキャッチコピーのポイント、工夫した点、苦労した点などを順番に発表してもらいます。発表を通じて、プレゼンテーションをする力や発表を聞く力を伸ばすことを目標としています。

■地域との連携

全クラス 160 名分の POP が完成したら、事前に依頼してある JR 八王子駅ビル内の書店で展示をしてもらっています。書店ではコーナーと看板を用意し、全生徒の作品が並びます。一部の作品については実物の本と一緒に並べられ、POP を見て興味を持った本を購入することができます。駅ビルの書店ということもあり、多くのお客様に作品を見てもらっています。展示は 8 月に行っているため、この取組を学校説明会でも紹介してもらおうことで、受験生が説明会の帰りに立ち寄って、生徒たちの学習成果を見てくれます。



書店での展示風景

書店での展示が終わると、次は八王子市図書館での巡回展示を行います。市内 2 つの図書館で順番に展示をもらうことで、書店とは異なった方々に見てもらえることが出ています。図書館で所蔵があるものについては、本と一緒に展示され、生徒の作品を見た人が本を借りていってくれることもあると聞いています。この作品展示は、本校と八王子市図書館との連携事業の大きな柱となっている取組の一つです。

■コンテストへの応募

図書館での展示が終わると、最後にはポプラ社が行っている「全国学校図書館 POP コンテスト」に応募します。平成30年に行われた第1回コンテストでは、本校生徒の作品が最優秀賞にあたる「POP 王」賞を受賞しました。

このように、生徒が制作した作品を多くの人に見てもらう機会を設けることで、生徒の学びを深めるとともに、生徒自身が自己肯定感や達成感を持つようになることを期待しています。また、1年次の早い時期に取り組むことで、学校生活において読書に親しむことや、学校図書館を使うことを学ぶことができます。